



# 営農NEWS



## 半促成メロンの病害虫発生に注意しましょう

ハウス半促成メロン栽培では、これから果実収穫期まで、茎葉に発生する病害虫には十分な注意が必要です。

メロン栽培で生育の中～後期に発生してくる主な病害虫として、つる枯病、菌核病、うどんこ病、べと病、アブラムシ類、ハダニ類などがあります。各病害は、いずれも多湿条件や曇雨天が続くと多発生し、やや肌寒い（20℃以下）場合は菌核病が、やや高温（20℃以上）だとべと病、つる枯病、うどんこ病が発生しやすい傾向があります。アブラムシやハダニ類は、高温乾燥条件を好み、ハウス内や周辺に害虫の寄生植物や雑草があると、そこから移動してきて増殖します。

### 【防除対策のポイント】

- 1) 下葉や葉の込み合っている場所の葉裏などを丁寧に観察し、病害虫の早期発見に努めましょう。
- 2) 病害虫の発生を確認したら、必要に応じて早期に防除に努めてください。薬剤散布は十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが特に重要です。なお、**収穫前日数に十分注意して、薬剤を選択**してください。
- 3) ミツバチ交配の場合は、交配期が終わるまで、ミツバチへの影響日数（目安）に十分注意が必要です。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、系統の異なる薬剤でローテーション散布してください。

表1 メロン つる枯病、菌核病、うどんこ病、べと病、斑点細菌病の主な防除薬剤（平成 29 年 3 月 27 日現在）

対象病害					薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ影響 日数(目安)
つる枯病	菌核病	うどんこ病	べと病	斑点細菌病				
○	○	○			ベルコートフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 5回以内	○
○			○	○	ジマンダイセン水和剤	400~600倍	収穫7日前まで / 5回以内	1日
		○			ダコニール1000	700倍	収穫3日前まで / 5回以内	○
			○			700~1,000倍		
○						1,000倍		
○			○		プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫3日前まで / 5回以内	1日
○	○				ロブラール水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 4回以内	1日
	○				カンタスドライフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内	○
	○				スミレックス水和剤	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日
		○			フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内	1日
		○			ガッテン乳剤	5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	○
		○		○	カスミンボルドー	1,000倍	収穫3日前まで / 5回以内	—

表2 メロン アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類の主な防除薬剤（平成 29 年 3 月 27 日現在）

対象害虫					薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ影響 日数(目安)
アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	コナジラミ類	ハモグリバエ類				
○					ウララDF	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	○
			○			2,000倍		
○	○	○	○		モベントフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	1日
	○				マイトコーネフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 1回	1日
	○		○	○	コロマイト乳剤	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1日
		○ <sub>ミナミ</sub>			カスケード乳剤	2,000~4,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	1日
			○ <sub>タバコ</sub>	○ <sub>トマト</sub>		2,000倍		
		○ <sub>ミナミ、ミカン</sub>			アフーム乳剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	2日
				○		2,000倍		
		○		○	ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで / 2回以内	3日
			○			2,500倍		
○	○		○		サンマイトフロアブル	1,000~1,500倍	収穫3日前まで / 2回以内	4日
○		○ <sub>ミナミ</sub>	○		ベストガード水溶剤	1,000~2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	6日
	○	○	○ <sub>タバコ</sub>		アグリメック	500~1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	14日

注) ①表中の○ミナミはミナミキイロアザミウマ、○ミカンはミカンキイロアザミウマ、○タバコはタバココナジラミ類、○トマトはトマトハモグリバエで農薬登録されています。 ②ミツバチ影響日数(目安)は、28年版県防除指針から、1日は24時間影響あり、○は薬液が乾けば影響なし、—は掲載なし不明を表します。—印の農薬については、ラベルの注意事項をよく確認し、不明の点はメーカー等に問い合わせてください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040